

附屬書類添附

大正七年三月廿五日接

駐露公使館

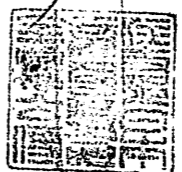
第...課

公第 八八 號

大正七年三月十八日

在支那

特命全權公使房齋林 謹啟

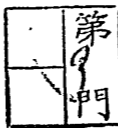


外務大臣 陸奥外務大臣 野一 郎 敬

最謹報六續海運付件

三月十八日最謹報入支那日本六續海運、指
ク要之、西比利亞出兵、對之支其同勤作氣
固乃至人事後、於今九日亦要本報債如何ク
危候度震レ口亦野心少、疑、危者升委仁八別
紙譯文、孰ナ御内是相候 多此彼中多事

在支那日本公使館



受08113號

MT

11212

02278

支那と日本 六續論 三十八日 景録

昨三日月の大坂朝日新聞に讀み、出兵協定、経過
情形、新聞の載る其言、日本政府は東洋平和
の伴多かり、西比、利害、出、兵、全、然、以、東、洋、平
定、維、持、の、為、ト、又、言、シ、支、那、ト、日、本、ト、其、向、動、作、の、希
望、を、似、多、然、と、能、ク、承、認、ス、レ、否、ト、ハ、亦、全、然、以、東、洋、平
定、維、持、の、為、ト、言、フ、事、ト、又、言、シ、其
伊、西、國、人、既、ハ、日、本、の、出、兵、に、對、シ、條、件、の、懸、念、を、表、シ、美
國、以、モ、之、を、今、日、迄、出、兵、條、件、の、決、定、を、情、以、シ、日、本
に、對、シ、士、氣、を、降、柔、ノ、雨、降、シ、待、之、ト、佛、國、以、モ、之、
日、本、の、出、兵、に、對、シ、報、復、の、待、人、事、を、言、然、レ、厚、ス、日、本、政
府、の、東、洋、平、定、ノ、平、和、ヲ、能、持、シ、タ、ル、事、出、兵、セ、ル、向、テ
協、定、由、リ、士、氣、を、維、持、シ、以、後、了、リ、ト

在支那日本公使館

其言、咄々人、遠く、自ら、德、譯、ト、云、英、佛、軍、ト、日、本、ト
何等ノ交渉、了、テ、交渉、軍、ト、如何ノ程、後、至、ル、ヤ、ハ
皆、予、吾、人、ノ、能、ク、過、向、ス、處、に、非、ス、惟、分、吾、人、ノ、研、究、
セ、若、能、ハ、サ、ル、者、西、向、懸、テ、(其、一) 彼、情、ヲ、支、那、日、本、
ト、其、同、步、動、セ、ル、故、ス、ル、ト、承、認、ス、ル、ト、否、ト、ハ、日、本、ノ、軍
務、意、思、是、ナ、ク、夫、レ、獨、人、ノ、遠、東、ヲ、侵略、セ、ザ、ル、ト、云、ハ、
其、遠、東、ヲ、侵略、ス、其、後、吾、人、者、人、類、ト、能、シ、支、那
ノ、出、兵、ヲ、自、給、ス、其、國、ト、能、シ、難、シ、夫、即、ハ、又、シ、協、定
方面、天、義、空、條、ノ、一、ナ、リ、協、定、由、リ、其、遠、東、ノ、愛
ノ、分、ト、レ、能、シ、表、更、テ、坐、視、ス、結、ハ、ス、日、本、ノ、意、サ、ハ、
出、兵、ス、ル、ト、亦、シ、前、シ、待、タ、ス、後、令、日、本、ミ、レ、テ、其、同
行、動、ヲ、承、認、シ、タ、レ、モ、我、人、亦、シ、出、兵、セ、ザ、ル、キ、カ、抑、夫
出、兵、ト、亦、單、独、の、動、ヲ、推、シ、キ、カ、(其、二) 彼、情、ヲ、日、本

MT

11212 02280

MT

11212 02279

小津洋遠東一平和ノ維持ニ為メ有テ協高田ニ相
 傳ル所後シ得ル必致スルトシテ是ヲ形質相傳ニ報復
 上ノ事トシテ何物シ指スカ形質相傳高田トハ其界限亦
 夕清カラスモ其同シ海ヲ対極官義ハ其持テ英丹
 支那ト日本ト結テ協高田ノ列スル失ハスモ倫敦
 ノ單結清和セカリ盟ノ海ヲ豈持テ支那ノ協高
 々々此ノナクヤ本再々協高田モ其ハ別ス要スレ協高
 方面ニ我々傳テ一過キルノ知ラス日本ハ持テ何
 處ニ向ヒテ報復ヲ要ナセトモ其皆テ吾人ノ力尙
 四セテ欲スル者ナク

日本ハ各一自ラ持リ其意業ヲ結子ニシテ國終上ノ律
 匯免テ其善日本入心既一則天然善利授テ獲
 取テ自手アリ世界ニ各一妻持テ又時々日本ニ過
 在支那日本公使館

ルハ最良ノ機縁シラス利ノ因リ使ハ乗ヒ得テ何ソラ
 榮ス遠口肯テ絲毛放鬆ス力其程大ノ慾壑シ臨
 々ス能ハサレハ必ス已ニス寧ロ唯タノ是ノ一ナク日本ハ又善ク
 外交上ノ内面ヲ裝飾シテ往々既ニ美名ノ存ニ無テ實利
 ノ獲テ善ク以テ始メテ重利ヲ以テ終テ其決テ漸
 色ヲ其等ノ事實ハ吾人一觀ニ可シ其後、見再ヒ
 之ツ青島其後、見ル今日ノ西比利亞出テ其ノ如キ
 其行合仍テ是如如共ナクヤ吾人ノ敢テ知
 ル處ニ非ス
 月度ノ其後、日本ハ情ヲ宣言シテ曰フ支那保全
 ノ為メ、我々ナリト青島ノ其後、日本ハ又宣言シテ
 曰フ日英同盟友誼ノ為メ、我々ナリト然レハ口實
 一、我々ノ結局ニ親ク日本ハ滿洲ノ東、方ニ

MT

11212 02282

MT

11212 02281

行動人如何其滿州、石多ハ、西人カ、南滿、其
 ケル地位ノ所、之ハ代々經營シ、餘カシ、邊境漸々
 其權ヲ北滿内蒙、伸ビ、其山東、放テ、人既、独人
 ノ青島、在ル、地位、取リ、之ハ代々、存シ、度上、一属シ
 於、忽チ、レテ、氏政、事ノ、施、後、了、既、社、ク、親、ク、以、テ
 將來、ク、凶、凶、凶、ク、日本、ノ、西比利亞、也、其、後、ノ、結果、軍
 向、ハ、カ、ク、知、ル、ク、況、テ、中、大、政、朝、日、新聞、ハ、已、ハ、明白
 披、露、ス、ン、ヤ、吾、人、試、シ、一、凶、兵、後、ノ、結果、ク、推、四
 二、ハ、日本、ハ、新、一、西比利亞、發生、ク、一、種、ノ、關係、ト、與、シ
 其、南、滿、州、ノ、所、在、ル、地位、ハ、根、深、ク、基、固、ク、益、一、年
 ト、ト、檢、ク、カ、ル、ル、ハ、皆、ク、想像、シ、得、カ、カ、ク、サ、ン、者、ク、
 一、ク、其、同、光、四、射、ス、儀、ヤ、其、区、々、ノ、一、々、ス、蓋、シ、ト、知、ル、
 一、心、滿、意、是、ル、キ、未、ク、出、兵、セ、ザ、ル、時、已、ハ、其、心、ハ、既、ハ、
 在、支、那、日、本、公、使、館、
 凶、兵、ス、ル、後、安、レ、シ、他、意、ク、抱、ク、シ、保、セ、ト、其、又、ク、吾、人、ノ
 日夜、憂、念、ス、ル、所、ノ、事、ナ、リ、
 夫、レ、日、露、戦、争、青、島、西、後、我、國、ハ、皆、ク、中、立、シ、守、ル、日本、ハ、後
 ン、我、ハ、取、リ、種、々、無、窮、要、利、了、ル、ト、大、ハ、我、國、民、ノ、感
 情、ク、傷、害、シ、日本、亦、ク、自、ラ、其、外交、ノ、信用、ク、失、ス
 今、茲、西、比利亞、兵、出、兵、ス、我、ハ、昔、日、中、立、シ、地位、ノ、非、ス、レ
 一、日本、ト、携手、同、結、シ、賊、者、日本、人、仍、ク、日、露、戦、争、
 事、後、我、後、昔、ク、支、那、ト、待、ツ、ラン、以、テ、今日、ノ、支、那、ノ
 待、ク、否、ハ、日本、ノ、自、釋、シ、請、ク、シ、吾、人、ハ、今、茲、一、言、言、
 一、日本、軍、ト、支、那、ト、其、同、ク、知、ル、ク、否、ハ、別、一、内、題、ト、
 一、日本、カ、支、那、ト、其、同、ク、知、ル、ク、抑、シ、各、自、單、独、多、動、
 一、事、中、ノ、滿、ナ、ク、英、佛、カ、日本、ト、事、前、ノ、如何、ク、支、持、ス、
 一、事、後、如何、ノ、高、漲、ス、ル、一、事、ヲ、取、扱、協、高、國、界、

MT 11212 02284 MT 11212 02283

在克那日本公館

限如何出至和告 報傳如何一編才善絲毛ノ
我因旅利問題一涉及有之ハ 我ハ決シテ與ノ内ノ
ヲ欲ヒスル鳴呼ハ本ノ出兵一面ハ防我東下ハ軍ヲ
東亞永遠平和維持宣言一面又我々レレテ報傳ノ
計我ニ堂々國家ヲ以テキリテ 特市井商人巨賈行
徑ノ學ヲカ 我因ハノ慶意幸因ハノ縁送故ナキ、
此カスル

MT

11212

02285

言

正徳七年八月十日

南條八郎

大正七年八月十日

正南條

信子修子南條氏

信子修子南條氏

信子修子南條氏

信子修子南條氏

外務省

Main body of handwritten text in vertical columns, including names and dates.

MT

11212

02287

MT

11212

02286

蓋文多ん格ノ如未ヨリ然レ照勅ヲ極メ申
此如之生也為レ際シテハ支那博至ナル貴
氏万數十名ハ遊歴在座ノ事年餘ヲ博ヒ
テ後事博ヲ見進テ約至飲子ノ為儀ハ
貴所ノ文ノ事知リ己ニ心得シテ是レ
珍クナリ南地支那貴氏カ帝皇修子ニ
番多ク好意ヲ表スル修子ノ人ノ物
人約支那修子ノ事知リテ是レ又
以テ南地支那ノ物種ノ事知リテ是レ
知レテ修子ノ事知リテ是レ又
西國修子ノ事知リテ是レ又
修子ノ事知リテ是レ又
修子ノ事知リテ是レ又

原簿ハ本局員ノ筆名ニ對シ

外務省

MT

11212

02289

MT

11212

02288

REEL No. 1-0061

0466

事情之通ふんモノ、必ずや肯定なる一平問題ナリト
思料ス能クナリ、帝玉吉局考ニ於テリ斯程徒輩
ノ法支ヲ防遏スルト若シ堅ニ思ハルニ思可有ル
高工業者ノ全國法稅獎勵策ヲ講究スルノ
緊要ナルヲ認リ若シ和上第一及本項ノ上カ法
改善ノ途ニ去テス現狀ノ保テ推移セリカ如何ニ
ニ日支提携ヲ高唱スルモ到底是レカ實現ヲ期
スルニト難カルニシ

三、支那大冶鉄山ノ鉄ノ産出豊富ナルヲ以テ所稱
セリ若シ林カ帝國ニテ本鉄山ノ權利ヲ確
定ニ獲得スルヲ得ルカ鉄材ノ不足ニ窮乏
スルカ和事毎カルニ是等全國ノ富源ヲ
開拓スル意味ニ於テ堅ニ美ナル帝國國民ノ

全國法稅ヲ執望セザルニ得ズ
四、日支又協約ノ憤慨ニ連袂本邦ヲ遠去
セル支那ノ為學生ノ多クハ今ヤ故山ニ在リ道
途兩難ニ陥リ何等為ス十年之苦ミツ、アハ、
ノ如シ尤モ中ニ支那人一流ノ激越セル語調
可也、是カ慷慨的演説ヲ為シ排日思想ヲ
煽動鼓吹セル為メ下級全國民ノ附和雷同
スルモノ十年ニ下リサハニ知識階級者斯程多
ク學生ヲ目スルニ黄口ノ輩ヲ以テ何等トシ
レニ傾聴スルモノ十年結果表面別ニ不穩ノ状
流ヲ認メ然レトモ全國内ニテテテクハ僻遠
ノ地ニ到リ今尚モ隨所ニ「日支交渉」ノ
屋簷ヲ奪ハルニシテ、大書セン

MT 11212 02293

MT 11212 02292

貼紙ヲ現認スル等ノ事案ニシテ觀レハ彼等ノ
多數ノ内心該協約ニ對シ甚ク不平不快ト
敬意ヲ狹メルハ是ヲ想像スルニ難カラスト
右圖知ノ儘而參考道共段及報告候也

MT

11212

02294

REEL No. 1-0061

0469

大正七年七月十六日接獲

駐政務 第三課

中野

高部

電報

參謀次長宛

在

臺灣總督府參謀長

第三十五號

大正七年 七月十五日午後三時五分發
同日午前十時五十分着

12986

近次福建省内土匪ノ跳躍開始ト相前後ニテ排日的擧
告書ヲ印刷配布シ其臺北醫學校ノ支那留學生ノ如キ
モ其餘波ヲ被リ之レニ雷同スルモノアリシノ如キ奇觀ヲ呈
シ又廣東ニ於テハ救濟亡國々民大會ナルモノヲ開催セシ
スル者アルモ是レ南方一部ノ策士連ノ行為ニテ南方人
士一派ノ現象ニアラサルナリ。

同

米國商人ノ手ニ依リ南軍力購入セル二十萬元ノ火藥等
ハ香港英國政府カ北京政府ノ依頼ヲ受ケ其輸入ヲ

陸軍

差止メタルニ對シ廣東當局及ヒ西南人等ハ大ニ憤慨
ニ交付セラレサルニ於テハ香港ヲ攻撃スヘト迄極言シ居
レリ。南軍所有巡洋艦廣海買取ニ関シ當地滞在
中ナリト云ハ某近頃香港ニ渡航セルカ量囊ニ同艦買
収ノ手付ケ金トシテ南軍ニ交付セル二十萬元ハ當地何
人等ノ手ニ依リテ(言不ハ)タルモノナリト

MT 11212 02296

MT 11212 02295



秘授15430號

附屬書類添附

大正七年九月參日發

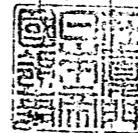
管政務局 第一課

檢定 第四九號

大正七年八月二十五日

在厦門

領事 矢田部保吉



外務大臣男爵後藤新平殿

排日撤文配布ニ関シ台湾

總督府ノ照會ニ関スル件

過般日支交渉ニ際シ當地支那人間ニ對日反感ヲ挑發スル目的ヲ以テ配布セラレタル撤文ニ関シ台湾總督府外事課長ヨリ別紙寫ノ通り照會有之候條右ニ對シ今總督府ハ左記ノ通り轉知

在厦門日本帝國領事館

方御取計相煩度此段申進候 敬具

追テ外事課長ヨリ送付越ノ付囑書類一檢全時ニ返送方御取計相煩度候也

MT

11212

02298

MT

11212

02297

記

當地民間ニ於ケル對日反感ニ関シテハ南北對戰以來殊ニ本官ニ於テ不断注意ヲ加ヘ居タル處本年四月七日ニ至リ豫テ南方派機關新聞トシテ知ラレ且又排日的色彩ヲ加味シ居タル當地發行漢字新聞民鐘報カ其論說欄内ニ於テ「日本ノ要求」ト題シテ當時進捗中ナリシ趣ノ日支軍事協約交渉ニ對スル臆測ヲ逞クシテ大正三年日支交渉第五項ノ要求カ西比利亞問題ト共ニ支那政府ニ對シ再ニ提出サレタリトナシ此際南北一致鵠蚌無益ノ争ヲ中止スヘシトテ一方北洋派將帥ノ態度ヲ攻撃シ兼テ他方ニ排日思想ヲ煽動セントシタルカ同報ハ更ニ五月初旬ニ至リ愈猛烈ナル及日意見ヲ露骨ニ發表シ居タルヲ以テ本官ハ時々支那官憲ノ注意ヲ喚起シ全官憲ハ屢次令新聞ニ對シテ警告ヲ與ヘタリ然ルニ當時北軍カ瀕々首領方面ニ増兵最中ニシテ南軍ノ前途一般ニ悲觀サレ居リシ折柄令新聞ノ態度ハ格別改マル所ナカリシカハ聞モナク令新聞ハ支那官憲ノタメニ發行禁止器械類差押ヘラレタリ當時之レ本官ノ抗議ニ出テシモノナリトノ説ヲナスモノモアリシ由ナルカ事實ハ本官ハ直接ニ新聞ノ差押ヲ要求シタルニハアラサリシナリ右民鐘報ノ排日論ヲ外ニシテハ別ニ排日的言動ヲ認ムル能ハサリシカ五月三十一日ニ至リ泉州學生聯合會警告書ナル檄文當地城内外ニ散布セラレ、ヲ入手シタルニヨリ六月一日付ヲ以テ別紙甲號原文並ニ乙號譯文寫ノ通り當地交渉員ヘ取締方申入レ尚右乙號譯文ヲ特ニ當地李督軍ニ送付シ更ニ該檄文カ泉州郵政局ノ消印アリタル

在厦門日本帝國領事館

MT

11212

02300

MT

11212

02299

趣旭瀛書院安重毫三郎ヨリ申出アリタルニ付督軍宛六月七日付嚴重同地方ニ於ケル舉動ニ注意ヲ與ヘ尚又其事實當地ニ於テ印刷シ居乍ラ他地方ノ名義ヲ附加シテ其地方ヨリ移送セラレタルカラ装フモノアリ且該檄文ノ散布カ主ニ學生間ノ手ニ轉輾セラル、ニ鑑ミ或ハ諸學校學生間ニ於テ秘密ニ印刷セラル、嫌疑アリタルヲ以テ六月二十一日此兩点ヲ指摘シテ督軍ニ注意方申出置キタルニ何レモ六月二日付六月八日付及六月二十八日付ヲ以テ督軍及羅交涉員ヨリ夫々回答アリ(別紙丙丁戌号写参照)其後同督軍カ本館マ員ニ語リタル處ニヨレハ右等檄文ハ日本ニ對スル反感ヲ含ムヨリ以上ノ程度ニ於テ當地北方官憲ニ對スル反感ヲ煽動スル意味ヲ有スルモノナルヲ以テ自分等ニ於テモ及テ限リ取締リワ、アルニ付本邦側ノ安心アリ度

在厦門日本帝國領事館

キ旨語リタルコトモアルコト、テ一方該檄文ノ散布ハ公然之ヲナスニ非カレテ秘密ノ裡ニ敷枚ヲ彼等知人間ニ傳達スルニ止マリ其影響モ頗ル微温的ナル様被認タルヲ以テ當時右以上立入りテ交渉スルヲ辭ケ今日迄其傳經過シタリシカ右等檄文モ格別ノ結果ヲ見ルコトナクシテ久シカラステ其跡ヲ絶テリ要スルニ本件ニ関シテハ督軍等ニ於テモ日支兩國現今ノ邦交ニ顧ミ充分取締ノ誠意アルモノナルコトハ本官ニ於テモ之ヲ承認セル次第ナルカ只當國地方行政ノ不振ナル現今ノ状態ニ在リテハ本邦ニ於ケル此種事項ノ取締状態ト比較シテ頗ル隔靴搔痒ノ感アルハ素ホヨリ其處ナルヘク平常此点ヲ遺憾ト致シ居ル次第ナルカ本件ハ上述ノ通り主ニ學生間隱密ニ授受サルニ止マリ殊ニ目下當地大商人等間ニハ何等反感ヲ抱ク兆候ナキノミナラス

MT

11212

02302

MT

11212

02301

(甯地及附近ニ居住スル台湾籍民等カ邦籍ヲ望ニシテ故
意ニ地方的慣習ヲ無視シ又ハ阿片賭博等ノ禁制行
為ヲ犯スモノアルニヨリ附近民間ノ悪感ヲ買フモノハ比々ナレト
モ)却テ南北戦争ニ當リ萬一ノ危険ヲ慮リ可成本邦
ト密接ノ関係ヲ結ビ置カントスルモノ多キ次第ナルニ就テ
ハ之ヲ以テ甯地商務總會等民間側ニ對シ正式注
意喚起方ノ方法ニ出ワルモ面白カラサル次第ニシテ本件
排日奉勳カ更ニ何等行動ヲ新ニシ末ルノ兆アルニ至ラ
サル限り今日ノ儘ニテ看過スル外ナキモノ、如シ
以上

在厦門日本帝國領事館

MT

11212

02303

甲号

公函第五號

大正七年六月一日

在厦門

日本帝國領事矢田部保吉

支那共和國厦門關監督兼交涉員羅昌敏

拜啓陳者今週成立セン趣ノ中日協定ハ決シテ坊間ニ於テ誤
解譏議スルカ如キモノニ非スシテ兩國政府當局者ニ於テ深
ク時局ヲ顧念スルノ故ヲ以テ相互ニ充分ナル善意ノ諒解ノ
下ニ共同防敵ノ準備事項ヲ協定シタルモノナルコトハ既ニ貴
國中央政府ニ於テ説明ヲ發表セラレタル通りニ有之候然ル
世上動モスレハ譎詐事ヲ構ヘテ貴我兩國ノ親善ナル關係

在厦門日本帝國領事館

疎隔ヲ來サシメント謀ルモノアリ曩ニ民鐘日報カ去月初旬
連日ニ亘リ面筆舞文以テ故意ニ民衆ノ對日反感ヲ煽動シ
タルアリ又最近ニ於テハ別紙寫ノ如キ檄文ヲ廻付スルアリ其云フ
所固ヨリ荒唐無稽ニシテ以テ識者ヲ誤ルコトヲ得スト雖モ斯
ル言論ヲ容認シカカル行動ニシテ看過サンカ勢力ノ趨ク處國民
ノ反感自ラ醸成セラレ或ハ不測ノ變ヲ生スルニ至ルヤモ保シ難ク國
交上最モ憂慮スヘキ事態ニ有之自然右等ニ對シテ貴國官
憲ニ於テ夫々御手配有之候事トハ相信候ハ共本官ニ在リテ
モ亦之レヲ默視スルヲ得サル立場ニ有之茲ニ照會申進候次第
ニ候奈此際當地漳州泉州其他何レノ地方ニ於テスラ問
ハスカル行動ヲナス者ニ對シテ極力嚴重ニ御取締相戒禍根ヲ未
然ニ根絶ス様致度尚之ニ關シテ直接取締ノ責任ヲ有ス各
地方官憲警察官憲ニ至急御訓達相成度別紙泉

MT

11212

02305

MT

11212

02304

州學生聯合會敬告書寫一通 相添此致申進候

敬具

追而廈門市中ニ於テ右敬告書配布致居候ハ果シテ
何人ノ所為ナルニ至急御取調ノ上國文ヲ索ラントスル其
行為ニ對シテハ相當ノ御制裁ヲ加ヘラレ候様致度右
御取調並ニ御制裁ノ結果本官参考ノ為メ御回報
相煩候也

在廈門日本帝國領事館

MT

11212

02306

REEL No. 1-0061

0476

寫

乙号

譯文

逕啟者此次所傳中日協定告成係也

貴國中央政府既亦發表說明實由兩國政府當局深念時局互相推誠善意諒解而後實行協定為昔日防敵之預備

事項者並非其外間所誤傳識識者一類詎後本領事

探聞巷間動有謠言滋事之徒故加企謀欲使疎隔

貴我兩國親善之關係前月月初間民鐘日報連日曲筆

舞文故意煽惑民衆及對日本惡感之事頃者又有散布

傳單謹就另低抄送雖其記載概係荒唐不值識者一

一盼而此種言論此項行為若任其瀰漫積予寬貸即

勢之所趨日久必定釀成國民之反感難保不有滋生

意外之變是則於

貴我邦交上最為可慮之事也古領事因此推諒

在廈門日本帝國領事館

貴國官憲對於此項舉動必有對付取締之法而本領事亦

屬責務所在斷難容認除請

貴文涉負無論其在廈門漳州泉州或在何處如有出於上

記行屬動者必須極力嚴辦先以綢繆於末兩而可並期剷

除其禍根外尚希

貴文涉員將此首情趕緊轉飭有保持地方治安責任

之各地方官憲及各警察官憲勉勵防備為荷合將該泉

州學生聯合會警告書照抄附送

查照至於此次在廈門散布另抄傳單果係何人所為即緊

查核嚴加處分是復為荷此項

時祺

MT

11212

02308

MT

11212

02307

丙 辨 寫

福建督軍兼第三路總司令部公函

逕復者、准

貴領事錄送所致羅交涉員公文一件、並泉州學生

聯合會發書一件、函請飭屬認真辦理等因

省我兩國素敦睦誼、對於此項舉動、自應設法取締、除

前令廈門道尹道尹、從嚴查禁外、相應函復、

查照、存此致

駐廈日領事、
第三路總司令部之閱防

中華民國七年五月二日

監印官劉世培

在廈門日本帝國領事館

寫

丁 號

福建督軍兼第三路總司令部公函

逕復者、准

貴領事公函、此次日支協定、在廈民間、散布檄文、不法行

動一案、查知該檄文係在泉州郵政局蓋印寄來、再清查

獲、嚴重懲辦等由、准此、查前接

貴領事來函、即經令飭廈門道尹、從嚴查禁、在案、茲

准前因、除令行該道尹、仍行查禁、嚴行懲辦外、相

應函復、

查照、此致

駐廈大日本帝國領事官、

中華民國七年六月八日

第三路總司令部之閱防

監印官劉世培

MT

11212

02310

MT

11212

02309

式 寫

福建廈門交涉署公函

函字第七百七十五號

逕啟者六月十八日奉

督軍兼第三路總司令函開准廈日本領事函送另抄
惠安紳商聯合會泣告書等由查此案迭經令飭
廈門道尹從嚴查禁並迅速查拿嚴行懲辦在
案未獲准前由除再訓令該道尹上緊查獲嚴辦外應
由交涉署照復駁廈日本領事查照等因並抄件到
署除分行密查外相應函達
貴領事查照為荷再前項印刷品在何處並由何人
代為印刷
貴領事如有所聞希即通知以便分別辦理可也此
致

在廈門日本帝國領事館

大日本國駐廈領事官矢田部

羅昌印

中華民國七年六月十八日

監印董鴻昌
校對 梁密島璣

MT

11212

02312

MT

11212

02311

日清戦争

電信課長

大臣 藤野野矢

次官

三三三

八月廿五日
九月廿五日

後藤外務大臣 龍領事

政務

通商

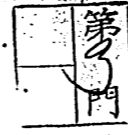
人事

會計

文書

參政官

副參政官



雲南省留學生ハ過剰者歟云々
南救國團 元々ノ組織ニ章程十條ヲ定
ノ各部職員全行四十餘名ヲ設ケ或ハ省
當局ヲ訪問シ或ハ廣東國會ニ請願書
ヲ提出シ或ハ後援會ヲ開キテ 日本ノ野
心ヲ云々シ日支 密約借款等段内閣
ノ政策ハ悉ク美 國約ニシテ支那ヲ第一ノ

朝鮮ヨリ云々ト福難ニ新聞紙ヲ賑ハ
シヨリ時常尙本運動ニ對シ態度ハ
同情的ナリモ對日關係ヲ顧慮シ段々
強硬對ヲ趣意トシ言福元亦其範圍
ニ局限スベキトテ偷ニ其(不明)紙然ル
排日運動ト 見ルヲ得ヤんモ帝國ノ
支那ニ對スル野心ヲ云々元カ如キハ 不穩
當ニシテ以テ一應省當局ハ注意ヲ促
カシ置キテ一般人民ハ本運動ニ對シ頗ル冷
淡ナリ、在支公使ハ轉覆ナリ

MT

11212

02314

MT

11212

02313

第 門

文書課長
長檢印

大正七年九月六日 接受

70

大正 七年 九月 七日 附

別紙

大正七年九月七日 發送済

機密

政機密送策 七 號

主任

第一課

書

主管 政務局長

3

下村民政長官

外務次官

外務省

排日燬文配布ニ関スル件

本件ニ関シ在厦門矢田部領事ヨリ別紙寫
ノ通り貴府轉達方並貴府外事課長

ヨリ同領事ニ送付アリタル本件關係書類
返附方申越候ニ付一括及申送付也

別紙八月二十五日付機密第四九号附

家書一通及台湾總督府外事課長ノ

送付ニ係ル書類共ニ併添付ノコト

MT

11212

02316

MT

11212

02315

日ふりあ

大正七年九月廿七日接受

陸軍省



第一課

編部

九月十六日

九月 于白子後八時十五分發大連湾
于白子後八時二十分着

電報

參謀次長

宛

在

齋藤中將

秘授13638號

第2門

解回セヨ

外

支極秘第六百二十八號又
本日六種ノ支那新聞ニ復、日本ヨリ一億円ノ大借款ト題スル記
事ヲ載セリ右舊日交通系カ曹汝霖排外ノ為ニナレシモノニシテ
其ノ元ハ交通次長葉恭綽カ梁士詒ト謀リ其機密タル新
聞編譯社ニ依リ配布シタリ梁ハ近頃周自齊ト共ニ歐洲
戰後米國ノ勢力ヲ推想シ徐世昌等ニ獨リ日本ニ依頼スルコ
トナク大ニ米國ト接近スレト説キソアルニ徐ハ之ニ耳ヲ籍スニトナク
又曹汝霖徐樹錚等ニ就キ彼等ノ親日説即チ東亞ニ位
置スル日支兩國特別ナル親善ヲ保テテ諸問題ヲ解決セサ
ルヘカラストノ説ニ賛同シアリ
前記六種ノ新聞ハ國文阻礙ノ記事トシテ各社ニ發行停止
ヲ命スル由

陸軍

MT

11212

02318

MT

11212

02317

REEL No. 1-0061

0482

第 門

第26205號

公信第 七七 號

大正七年九月十七日

駐政務局 第一課

在齊々哈爾

領事代理 古澤 幸吉

外務大臣男爵後藤新平殿

濱面參謀長ニ對シテ支那創製ノ待
遇振ニ對シテ報告ノ件

關東都督府參謀長ハ本月十三日來齊同日
鮑督軍トノ間ニ公式ニ訪向ヲ交換シ同夜督軍
署ニ於テ同參謀長ヲ至賓トシテノ饗宴アリ
十四日本官主人トナリ同參謀長及督軍以下

在齊々哈爾日本帝國領事館

主要官官憲ニ格餘名ヲ招宴シ十五日交渉員、
中餐會ニ於キ參謀長並催、晚餐會アリ何
レニ好成绩ヲ以テ終始ニ時節柄甚ク悦ブ
徵象トシテ認マラレ候支那創製ニ於テハ特ニ同
一行為ノ交渉局ヲ旅館ニ供シ滞在中專用ノ
馬車及護衛兵等ヲ附シ又送迎ニ特別貴
賓列車ヲ出シ頗ル優遇ヲ著シ候
右御參考迄及報告候 敬具

本信軍送附先 在支那公使

(大正小森文七支店印行)

MT

11212

02320

MT

11212

02319

REEL No. 1-0061

0483

第
の
門

別紙時局管見一篇前次林公
侯帰朝節其一閣代吏ノ請ヒタ
ルニ候今ヤ内閣更迭ニ總理外相
其人ヲ新ラス別篇ハ其一亭一白ノ更フ
ルニ違アラス之ヲ我々新宰相新外相
呈ト謹ヒテ亮察シテ

中 如 榮 謹 上

九月三十日

在支那日本公使館

MT

11212

02321

白紙加紙

時局管見

中野榮上 九月四日

以テ寺内宰相、告ク

以テ後藤外相、告ク

治國平天下ノ道固ト多端外交國際ノ事自ラ複雑ナリト雖凡而カモ之、處スルノ要ハ須ラシ人心趨勢ノ赴ク處ノ審察シ之ヲ啟沃シ之ヲ指導シ以テ其向上發達ヲ期シ其施設應酬ハ毎々公明正大内々顧ミテ一照ノ疚シキナキヲ要ス其國民ノ愚ミシテ以テ頼ラレムヘシト為レ詭秘暖昧ノ

在支那日本公使館

術策シ弄シテ外交權喪ノ上乘ト信ズルカ如キハ共々古今不通ノ甚レキヲナリ而カモ最其要ハ廟堂ノ高ニ居リ國交ノ衝、當ル者ハ毎々其心志ヲ高潔ニシ至誠以テ事、任シ毎々國民ノ師範トナリ已ラ空クシラ人ノ聽キ集思廣益ノ効シ收メサルヘカラス明治大帝維新ノ條ノ誓文ト憲法ノ條章ハ炳乎トシテ日星ノ如シ然カモ我國目下ノ實状ハ如何強ト是レ上下交ニ相疑ヒ虎爭紛擾陰謀欺瞞是事トシ其窮スル處

MT

11212

02323

MT

11212

02322

非擠措陷尚且之辭セズ甚トキハ遂ノ
國家ノ利害國際ノ信義シ顧ミサレ、指ラ
ニ至ル既、内吾國民シテテ亮舜ノ民タラシ
ル能ハス自援或ハ險、走リ露國吳奎亮
過激派ノ擧、敵ハシムル、至リ外國際ノ精
疑ノ招キ信シ鄰邦ニ失シ独リ至尊シシ
宸襟ヲ勞セシムル、至ル晏スル、抑マ誰ノ咎
ナ正、是レ我國民一般カ其責、任セサル、タ
ト請フト雖、臣力カセ尤モ其責ノ負ハサル、タ
サ尤者ハ、我宰相大臣、非ルカ、臣、復、瑞、ハ、支、那、ノ

在支那日本公使館

國務總理ナリ乃々宰相大臣ナリ為人贛直
寡徳敬々シク愛ス、ク固シ、我々宰相大臣ノ相議
リ相信ス、取ナリ、而カモ、一、片ノ武弁、シ、以、テ、宰相
大臣ノ信、居、國政ヲ、秉、ン、惟、ク、何、ノ、不、可、ナ、レ、惜
ム、ラ、ク、ハ、人、心、向、背、ノ、察、知、レ、且、ク、之、ノ、指、導、ス、レ、
能、ハ、ス、徒、ク、一、二、尤、存、レ、臆、キ、武、断、シ、テ、專、行、シ、
其、内、治、外、交、ノ、遂、ノ、為、ス、ヘ、ク、ク、サ、レ、至、ル、ヤ、其
職、ヲ、抛、ツ、以、テ、其、責、ノ、免、レ、ト、ス、雖、レ、雖、レ、猶、ホ、
退、シ、ノ、途、ヲ、知、ル、モ、レ、言、フ、レ、曾、ラ、其、門、下、部
將、吳、佩、孚、ナ、レ、多、前、敵、ノ、戦、地、ヲ、通、電、シ、

MT

11212

02325

MT

11212

02324

武歴ノ不可ン論ニ言ク建ツルキ乃チ格キ軍人
 服後ノ語ク以テ之ノ嗚過セトリスヤ吳ノ毅
 然ト云フ天子ノ争臣七入アルハ無遠ト金氏其
 天下ノ失ハス諸侯ノ争臣五人アルハ無遠ト金
 氏其國ヲ失ハス大夫ノ争臣三人アルハ無遠ト
 金氏其家ヲ失ハス士ノ争友アルハ則チ自今
 名ノ辭トス父ノ争子アルハ則チ身不美ト臨
 ラスト今足下ハ宰相大臣ナリ西清昔ヨリ諸侯
 大夫ナリ故チ一人ノ争臣争友争子ナカルヘシト
 云ルカ今ヨリ言論自申ノ世ノ争議争辯ノ
 際チノキナレトスルカ誰カ今ヨリ真論ノ愚論ナ
 リトレ一ニ採擇スルキナレトスルカ真論ノ愚論ニ
 取舍者慮ムルアルハ賢者ノ事ナリ若シ彼ノ
 成見ノ固執ニテ論ヲスレバ是レ頑冥ノミ吳
 又々其責任内閣ノ論ニテ曰フ今日内閣乃チ
 昔ヨリ宰輔ナリ世運ノ隆替固シク紐樞ナリ内
 閣レシテ宰輔レシテ名ハ殊ンモ義ハ一ナリ其責
 任朝野上下ノ權衡ヲ宰輔レシテ左右ノ出
 ノ政ヲ輔シルナリ天ハ元氣希ク生シ以テ萬民
 統ノ虛名ノ譽ヲ盡一シテ天下ノ安危ノ

在支那日本公使館

MT 11212 02327

MT 11212 02326

繫キ邦國ノ存亡ヲ操ル者實責宰相一人在
リ元首ヲシテ不仁ナレハ則チ驅クテ湯武ト爲シ
シ元首ヲシテ不仁ナレハ則チ堯舜ト爲シテ世
ノ不仁糾政ノ元首ヲシテ不仁危國宰相
ルナリト支那ノ國民シテ支那ノ國體ノ論
自ラ不通ノ處アリレヌルモ其宰相大臣責任
理義ヲ論ズ一ナリ我國垂代ノ天皇ハ其仁
徳及遠近無邊ナル堯舜ト爲ラヌ而カモ今
日上下相疑ヒ相争ヒ紛擾ノ極ニ處テ不
明不祥ノ徒ニ事ヲ構ヘ累ク我皇室ノ及キ

在支那日本公使館

スアリトセハ其責抑テ誰カ帰スル足下宰相
大臣カ至誠格ヲサナリ殷鑒ハ遠カラス前車
ノ覆ルハ後車ノ戒トスレハ人心浮動ノ傾向蓋
シ恐レシヨリ慢マシムルハカラス若レ頑冥ニ
シ不靈倒存シテ遂ニ鏡攝効ヲ爲スレト
為サハ一旦其暴發スル恐クハ收拾ノ容易ナ
サシムルハ今ノ道義ハ頼成レ輕薄風ヲ為
シ人心動搖シテ上下相疑フ平ノ是ト我國民上
下ノ須ク皆、警醒自省スルキノ秋ナリ而シテ宰
相大臣尤ク皆、警醒自省シテ乾ク國民ノ平

MT

11212 02329

MT

11212 02328

版レ前清末代ヲ列國ガ支那ニ對シ施シタル
其種議秘昇劣ノ術策ヲ指摘枚擧スル
違アラスレシ西年以來我國朝野方面ノ對支
施設ノ支離成裂シ浩歎シ今ヤ正ニ更張改
練ノ秋タルヲ絶叫スルヲナリ某ハ茲ニ於テ對
支外交機關ノ統一ヲ主張ス誰ノ思カ對支外
交ハ外交省ノ專屬ナリレヌフモノゾ對支外交ハ
既ニ我國國際外交ノ重要部分ニシテ國民
上下各方面ノ宜シク應サシ努力ニテ研究シ調査
シ經營シ計畫施設スルキヲナリ但對支ノ外

在支那日本公使館

交機關ハ毎ニ外務省ノ綜合統一セラルルニ
カサレシムルニシテ國家己ノ官ノ設ケ制ヲ定メテ自
ラ之ヲ信用スル能ハス自ラ之ヲ侮リ自ラ之ヲ
棄ス外交機關ノ權威信用何クニカ存テ而シ
テ其功卑シ望ムト言ハレ候ハ木ノ縁リテ魚
ノ腹ニ類ノミ請フニ宰相大臣為ス如ク如何
辨リ怪ム我々軍官署ハ毎ニ官ノ各處ニ派シ分
外ノ抗衡交渉ノ任ジ而カク其後ノ善クシカク
キニ事ルヤ乃チ成テ外務省機關ノ責求ス言入
ル其熱心ヲ調査シ連絡シ勉ムルヲ多クシテ

MT

11212

02333

MT

11212

02332

ナリ但々其官規官制ノ範圍ノ超ハ功ヲ貪
 キ急ナルヲ昇ク而カキ我々舊來ノ軍憲上長
 カ毎々其風ノ馴成助長シテ願ハサルヲ大可トス
 此ノ其風陸軍ニ於テ尤モ甚シ慎マサルハ
 先カ不昨年西原電ニナル者ヲ派シテ大蔵物販
 權ノ既務官ト連絡シ或ハ陸軍武官ト使役
 シ半官半私的ノ支那劍ト交渉ノ者ヲ
 シタル一事ハ我々宰相大臣ノ尤モ親シク聞知
 元處吾人ハ今及シ其告否利害ヲ判断セ
 尤モ但レ事情我々務相及北平公使館、
 在支那日本公使館
 於テハ責任人ト爲局者カ之ノ事前ノ範圍拘
 束スル能ハス茲若今日ノ詭秘放縱ノ交渉ノ
 係ヲ馴致セシノ外列國物議ヲ醸シ其猜疑
 シ招キ自ラ益、我々外交機關ノ權威信用ヲ失
 墜スルニ至リタルハ實ハトシテ誠ニカタキノ
 事蹟ナリ吾人ハ我々務省々使館ノ以テ決レ
 シ萬能ノモレ信ズ能ハス而カキ外務省政府
 自ラ之ヲ輕侮シ而シテ世ノ輕侮ヲ招キ引イテ國
 家外交機關ノ權威ヲ失墜スルニ至リタルヲ怪
 ムモノナリ我々宰相大臣ニシテ我々外交機關ノ

MT

11212

02335

MT

11212

02334

信用セズ不用ト云フカ宜シク法成ノ手續ニ依リ
之ヲ團論ニ徴シ或ハ之ヲ廢止シ或ハ之ヲ改革
スレバカク一國ト對シ外交方針ト機關ノ統
一トモサレカクサレハ固ヨク論ヲ俟タム處ナ
キハ更ニ進ミ即今支那時局ノ関スル形見シ
地ノ進レ表轉揮リナキ支那ノ時局ノ對シ
ハ殆ク常識ノ以テ測度シカクキモヤルカ如
ト雖モ而カモ其間自ラ機微ノ察知スル
難カラザルモアツラ存ス去年北方省軍閥
ノ強迫ニ因リ國會ヲ解散トナリ復辟ノ一

在支那日本公使館

舉レテナリ段内閣成ニテナリ西南軍費各
省ノ護法ノ福ノ獨立自主ヲ宣シ茲ニ於テカ
乃チ南北ノ戰伐起リ今ニ至リ年餘其向討
伐停戦ノ奇勅ハ幾ヒカ繰返セテ而カモ一般
國民ノ戰爭ノ無意義ナラシ知テ戰亂ノ慘
苦ニ堪ヘズ平和解決ノ欲スルノ情尤モ切
ミレバ且ク又今四ノ實情ヲ以テハ南北共ニ其
取カクテ以テ一壓服統一ニ能ハサルハ早ク己ノ
識者ノ確信スル處而カモ其南北相争フ
所以ノ觀察スル其向自ラ復舊メル情實

MT

11212

02337

MT

11212

02336

纏綿スル所ニ要スル北方ノ主張、念シク西
南各省ハ護法ヲ標榜シテ自主獨立ノ宣言
ト武カシ以テ中央、反抗ス中央ハ理應サレ
之ヲ討伐スレド而モ西南ノ主張、依レハ
北方ノ自稱中央政府トシテ考ヘ國會ヲ不
法ニ壓迫解散シタル督軍々陶ノ別名ニ過
キマレシ其成之ハ約法上何等ノ根據ヲ有
セズ而カモ代行大總統ヲ推選シテ約法上
根據ナキ參議院ヲ召集シ或ハ國會組織
法兩院議員選舉法ヲ改正セシメ違法ナル

在支那日本公使館

國會ノ組織カシノ勝手、大總統ノ選舉ヲ
行ハレシ其為スルハ違法而カモ其新國會
ハ全然西南各省ヲ排斥シタル其選出シタ
ル大總統モ到底之ヲ承認スル能ハザルハ
勿論其國家ヲ賊ス不法團體ハ速ニ之ヲ
討滅スレド云フ、在リ而モ實情、假レハ
一般國民ノ平和ヲ欲スルハ其至情、出テ北
方武壓ノ不能并テ無ク今ヤ前敵ノ北軍
一師長吳佩孚ノ強烈ナル平和通電ハ動
機トシテ湖南江西方面已ニ戦ハズ福建、及び

MT

11212

02339

MT

11212

02338

ル北軍陸續潰敗レ段祺瑞ハ其不徳無
能ノ責ヲ引キ自ラ國務總理ト退クノキツ通
電表明レ其内閣ヲ再辭職シ意ト以テ時局
ノ轉圜ノ因ヲレスルノ至ル而カモ段ノ引退
徐世昌ノ出動ヲ以テ時局ノ解決統一ヲ期
待スル尚早計ナリ今ヤ支那ノ時局ハ已
武力ヲ以テ統一スルカヲ要ス須クテ法理ノ基
キ理想ノ依リ善政ノ施設、待ツノ外ナケレ共
進申シ以テ其北方ハ少クモ其新國會ヲ擁
護スルノ覺悟ナラシム到底解決統一ノ餘地

在支那日本公使館

ナレ徐氏抑モ何ノ成集カアス為クモ北方督軍
團ニシテ其決心覺悟ヲ有セハ南北ノ妥協時
局解決ノ道自ラ存スルヲ見ル而カモ和協統
一ハ日本各團好意アル調停、急ぐ尤モ速
成スルニ憲法ノ制定ハ重大ナリ然カモ昨年
已、其主張ノ充分融和接近レタルヲ見ル軍
閥ノ處分軍隊ノ整理ハ難題ナリ而カモ專
ク其地位ヲ保証レ徐氏ノ改善政體ヲ期
スル自ラ方アリ旧國會ノ召集新國會ヲ辭
散乃至成立ハ自ラ難題ナリ而カモ旧國會ハ

MT 11212 02341

MT 11212 02340

會期餘之形勢干之憲法ノ制定法
 規ノ追認等、依リ其前自ラ安否ノ方ヲ
 非ス日本若シ支那時局、我亂不安ヲ
 以テ其外交及通商上利用有為ナリレ為
 ザル限リ以時局、對シ毅然トシテ其外
 交休變ヲ改新シ正義ノ觀念、基キ支
 那ノ平和ト安寧ト善カスヘキコトヲサレカ直
 言スレハ年來ノ我支那政府支持援助方
 針ナル者ハ甚シク内外ノ非難精疑ノ蒙リ
 タルノ際ナラス、我カ支持トシムル支那政府ニサ、
 在支那日本公使館
 嫌忌セラルノ情体ハ掩ハレシテ蔽ヒカクシ
 日本ハ須ラシ其對支外交機關ヲ統一シ改
 革シ其對支休變ヲ公明ニシ秉公持平ノ
 本義ニ基キ正義ノ理想ニ依リ提携親
 善ノ實ヲ舉グルル、勉ムレ共効果ハ我カ外
 交機關ノ統一ト我國民上下一致ノ真面
 目ナル努力ニ依リテノニ收ムルヲ得レ古來君
 子ハ過リ改ムルニ各ナラサレ日本ハ須ラシ
 英米各國、對シ首唱提議スレ支那ハ
 平和ハ一般ノ希望スル形其内争ハ且ツ

MT 11212 02343

MT 11212 02342

参戦ニモ妨ナキ、アラス内政ノ干渉ハ固ト
 欲セザル處唯應サ、須ラク好意ノ請停
 シ為レ時局ヲ解決統一セシメ以テ政治ノ
 改善ヲ、遂ハシメント各國ニシテ我意ヲ諒
 ドスルナクシテ、須ラク毅然トシテ独行スレ
 須ラク北方情局、向ツテ告ケテ武壓已レ統
 一ニ効ナクシテ、須ラク法理、依リ理想、基
 本國家政治ノ改善ヲ謀ルノ外ナレ列國
 ト共、喜シテ好意アル援助ヲ為サレト宣レ
 ク西南情局、向ツテ告ケテ日本ハ支那ノ統
 一ヲ欲スル、餘其情局ノ政府ノ援助ニ速、
 其効アルニシテ、期ヤリ然ル事、願レ違フ
 シ遺憾トス日本ハ今ヲ翻然トシテ列強
 ト共、支那政治ノ改善、平和幸福ヲ為
 ス喜シテ好意ノ援助ヲ為サレト支那南北
 書局ハ勿論、所謂督軍團ト雖、日本カ以
 種ノ正義、親切ナル提言、勸告、対シテハ
 必ス感應セサルヲ得サル、キス情然ニシテ
 是已、支那ノ為、謀、日本ノ為、謀、列國ノ
 為、謀、所以ナク、又支那將來政治ノ改

在支那日本公使館

MT

11212

02345

MT

11212

02344

良進歩に至ル共方途多端ナルを毎立
義レ公平レラ基礎トシテ施設經營セラル
世ハカラサルハ勿論日本カ近數年來其施
設レ經營レタル各事、対レ善良ナル効果
ヲ收メテリ欲セハ其為ニキテ頗ル多ク更ニ我
國爲ノ公平英西日ナル判断努力ノ要ス近來
米國カ提議スル四國團加入條件カ果シテ
凡ノ實業的改治的優先權ヲ解放シ四
國團平等ナルトシテ議ナリレセハ我對支外
文休復一新ノ際レ自ラ考量ノ趣味アリ

在支那日本公使館

尚題タルヲ認ム

尚茲、附言セシレムルアリ若レ日本及列
國ニシテ其後氣ノ曖昧休復ヲ持續スレセハ
支那ノ時局ハ紛々濤洑悲シクハ協和解決ノ
機ナク而カシ北方督軍團策士輩ハ其新
國會ヲ操縦シ或ハ民意ヲ藉リ再々復辟
ヲ實行スルニ至ルニキテ自ラ推測セラルニキ
情勢ニシテ而カシ其復辟人清朝ノ復興トハ
何等ノ關係ナク所請一種ノ虛君共和
ニテ依然北方督軍團ノ武斷自援ノ意

MT

11212

02347

MT

11212

02346

味シ政治改革進歩ト何等相抄ラサレ
 介ナズ重ネシ支那ノ紛援セシムルヲ多ク亦多
 豫見スル難カラサルノ情勢ナリレズ
 惟レ以上述フル所外交機軸ノ統一対支体
 度ノ改新ノ如キハ事理頗ル平易我カ宰相
 大臣ノ高明ナル早ク己ノ想及セル所ナレキヲ
 知ル所モ知ツテ行フ能ハスレバ或ハ徒ラ
 情實、囚ハレ之ヲ賓行スル能ハサルカ是
 断ナキナリ勇ナキナリ希クハ其年誠、鞭ヲ共
 勇猛心ヲ奮起シ断々乎レレシ之ヲ行フ語曰
 漸シテ行ハ鬼神モ之ヲ避シト孟子曰天下ノ
 廣告、居天下ノ正位、立天下ノ大道ヲ行フ
 志ヲ得ルハ民ト與、之、由リ志ヲ得サレハ猶
 其遠シテ行フ富貴モ淫スル能ハス貪賊モ
 移ス能ハス威武モ屈スル能ハス是レ之ヲ大
 丈夫ト謂フ宰相大臣ハ大丈夫ナリ今ヤ
 正、天下ノ廣告、居天下ノ正位、立ツ應ヤ
 宜シク五條ノ誓文ヲ遵奉レ憲法ノ條章
 後、民ト共、天下ノ大道ヲ行ハレモレノ冒昧
 謹シテ言ツ呈レ故シテ争臣争友争子ノ

在支那日本公使館

MT

11212

02349

MT

11212

02348

義、傲ノ頓首

在支那日本公使館

MT

11212

02350

REEL No. 1-0061

0499

り支那の軍艦

ト

小島中島
海軍提督
子一海軍
佐了

第9門

○大勢の感傷

方三九

歐洲世界の大戦亂ハ要ス、民主主義ト軍國
 主義ノ其レリコト、ナニ米田ハ極力シテ
 唯一ノ遺憾ハ尤モ之、在ル米田ハ其主義共
 懐ノ為メ、一寸普通國勢因テ想像以上ノ奮
 レ努力レ接續シ拂トヤアコトハ何人トモ感服
 ノ至イン茲、至レハウ井ノ之氏ノ毅メノ大ニ、教
 元レ同時、鬼ノ弁正義ノ純念ト人格力ノ偉大
 ナコ今更ナク感心ス、而シテ、協約國乃チ英
 強大國ノ最ニ其米田、負ノ處大ナルハコトモ
 同時ニ刺撃セシ感傷、後來米田ノ偉大
 コレ以上、於テ州會澤ナニ威嚴アルヲ多ク
 井推定ナク、世界ノ大勢ノ歩算シ、因際ノ關係
 在支那日本公使館

眼スハ毎、之ヲ念頭ニ置クノ要ガアル
 四等カ改修、悉ク其ノ對其主義ヲ示シ青島ヲ取
 東洋ノ前途ニ轉送ノ集降地ノ臨レ東半部、於
 精練ノ努力ヲ驅逐シテコト、改米協約國ノ受
 安心ト利益トハコト直ニナク其他、地中海ニ遠
 援助ヲ入シ、コトハナク援助ノ為メ、西伯利
 面、此並努力レアル、努力、孰ハ、協約國
 例ノ感謝、元處々人云ク、直ニナク、其種
 於、日本、努力レ活動ト人永久的優在、地
 ヲ、台、至、ハ、ナ、カ、告、改、米、劍、托、愛、精
 遠、コ、一、種、感、情、故、コ、步、為、政、家、元
 子、ハ、毎、其、大、勢、レ、感、情、ニ、着、テ、勉、メ、之、順
 各、レ、勉、メ、之、了、此、タ、ク、レ、ノ、偉、大、施、後、此、ク

MT 11212 02352

MT 11212 02351

第四号
支那の人物
支那の歴史

ナレトハ或ハ知ラズク、尙世界因際的、孤島地位、福
 リハセヌカト、把持スル共在、アノモ、外支体系
 毎、九七五、公、四、正、大、ナ、ケ、レ、ハ、ナ、ク、マ
 任、之、ハ、支、那、ニ、対、シ、テ、ハ、元、支、那、ハ、專、制、ノ、君、主、政、治、ニ、
 院、レ、シ、民、主、若、我、國、レ、ナ、ク、レ、シ、マ、レ、カ、ケ、カ、セ、世、界
 ノ、支、那、上、殊、ニ、未、開、如、キ、ハ、多、ク、同、情、ハ、ア、ル、ノ、カ、
 支、那、ノ、物、資、命、世、界、ノ、崩、放、レ、民、主、的、政、治、ノ、改、善、
 ヲ、行、ハ、レ、ン、ト、ハ、少、ク、尺、ヲ、井、ル、ン、レ、氏、建、想、ス、ル、ノ、昨
 年、支、國、カ、精、進、ノ、潜、航、艇、政、策、ニ、対、シ、最、重、ナル、抗
 議、ヲ、為、シ、告、時、或、ハ、風、馬、牛、ノ、意、ア、ラ、ズ、支、那、ノ、紛、争、
 レ、ン、ト、ハ、多、ク、出、テ、レ、メ、多、ク、イ、テ、参、議、モ、レ、ム、ハ、一、員、ト、シ、テ、
 動、機、建、想、ハ、甚、ク、ハ、支、那、ノ、世、界、ノ、一、員、ト、シ、テ、
 引、立、ラ、コ、ト、シ、ル、ノ、ア、ウ、タ、マ、ウ、ニ、建、想、サ、ル、ノ、告、時、ヲ、
 在、支、那、日、本、公、使、館、
 イ、レ、ト、シ、公、使、カ、ウ、井、ル、ソ、レ、大、使、長、訓、令、ヲ、奉、シ、テ、支、那、動
 議、ノ、予、告、動、シ、ス、ル、次第、ハ、ブ、ライ、ス、氏、ノ、イ、ヴ、ニ、シ、テ、ホ、ス、ト
 一、把、持、シ、テ、ラ、ム、支、那、ノ、カ、ナ、カ、妙、ク、告、時、ヲ、イ、テ、支、國、
 動、議、ノ、主、旨、ヲ、言、ハ、リ、了、解、レ、極、力、答、答、レ、ラ、共、ニ、他、動
 議、運、動、ノ、勉、メ、支、那、ノ、人、前、ハ、皆、ナ、ク、シ、キ、人、物、
 任、ハ、津、錦、尉、伍、朝、樞、王、日、廷、王、火、條、等、如、キ、人、々、
 能、道、及、対、シ、了、解、レ、得、ナ、カ、ツ、タ、ハ、人、物、殊、ニ、荷
 車、運、作、カ、ア、ウ、タ、マ、ウ、ノ、年、一、選、等、運、作、ノ、イ、テ、
 支、國、ノ、内、ハ、毎、一、新、進、步、新、智、識、新、人、物、ノ、出、
 テ、ハ、ヨ、ク、情、ヲ、抱、イ、テ、見、テ、レ、ル、勿、論、カ、ル、九、七、五、
 心、平、氣、考、ア、ル、今、ノ、世、中、ハ、回、響、力、回、響、傳、回、響、機、
 者、カ、徒、ラ、政、權、ヲ、把、持、シ、テ、世、界、ノ、趨勢、ヲ、伴、フ、政
 治、進、歩、ノ、阻、害、ス、ル、事、ト、ハ、甚、ク、不、白、甚、ク、大、意

MT

11212

02354

MT

11212

02353

大正七年十月七日 發

兵外系秘茅一四九一號

陸軍省 第三課



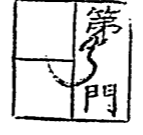
大正七年十月四日

兵庫縣知事 清野長太郎



送附17096號

内務大臣 床次竹二郎殿
外務大臣 子爵 内田康哉殿



内閣交迭ニ就テ在留支那人ノ
意郷向ニ関スル件

今回我内閣ノ交迭ニ関シ各地在留支那人中
有力者王敬祥、楊壽彭、鄭祝三、陳
源泉、鮑翼君、馬聘三、王文達ノ意郷向
ヲ探聞スルニ

一 南方派ニ属シ王敬祥ハ曰ク

寺内々閣遂ニ辞職ノ止ムナキニ至リ之レニ
代フルニ内外ニ信望高キ原内閣ノ成立ヲ見
ルニ至リタルハ當ニ日本ノ幸福タルノミナラス
諸外國殊ニ我支那ニ取リテハ且最大幸福
ヲ招致シタルモノニシテ欣喜措ク能ハサルモノ
アルト共ニ吾人ハ此ノ秋ニ於テ南方政界ノ
厚盡瘁セントス而シテ自介ハ幸ニ原首相
相、内田外相、高橋藏相ニ面談ヲ有
シ居レルヲ以テ本年中ニハ上京シ首相其
他ヲ訪問(本介大隈内閣成立當時首相ヲ
訪問シタルモノ)シ支那南方ノ現状ヲ速
シ公平ナル立場ニアリテ憂懐ノ勞ヲ採ラレ

MT 11212 02358

MT 11212 02357

REEL No. 1-0061

0504

ハコトヲ依頼シ先ツ内争ヲ治メシメ次テ眞
ノ日支親善ヲ實現セムトス之レカ方法トシ
テハ台湾、南洋其他廣ク日支關係有
志ニ諧リ寄附金ヲ集メ大政神戶、中間
ニ支那民國ノ名義ヲ以テ日支共通ノ一大學
校ヲ新設シ兩者ノ意思疏通ヲ圖ラムトノ
腹案ヲ有シ居レリ故ニ上京ノ際ハ之等ノ具
ニ關スル意見ヲ開陳シ同政府ノ援助同情
ヲ求ムト決心シ居レリ云々

一南方派ニ屬スル有力者楊壽彭、鄭祝
三、鮑翼君ノ意嚮ヲ綜合スルニ
寺内々閣カ援助南圧ノ方針ヲ執リ来リ
爲ニ支那内争ヲシテ益々紛糾セラルニ至ラ

シメタル事ハ支那南方人士ノミノ認メ居レル
歟ニアラス日本有志ニ於テモ同様ノ感ヲ抱
キ居レルコトハ殆ント争フノ余地ナシ同内閣
ハ内外共ニ政策ニ窮シ遂ニ辭職ノ止ムナキニ
至リ之レニ代フルニ内外共ニ威望信賴厚キ
原内閣ノ或立シタルコトハ日本ノ爲慶賀ニ
堪ヘサルモノナルト共ニ我支那ニ取リテハ近ク新
生面ヲ開クヲ得ハク吾人ハ同内閣ノ或立ヲ
衷心歡迎セルト同時ニ其對支政策ニ関シ
期待スル効多大ナルモアリ
南北杭争久シク寺内々閣ハ此ノ間北方ヲ
援助シ来リタル何等効果見出サズモナ
シ見ヨ現今ニ於テハ南北杭争ノ跡以テ

MT 11212

02360

MT 11212

02359

方ハ何等得ル歟ナキニミナラズ現ニ南方ノ
土地ニシテ從來北方ノ支配ニ屬シ居リタル
福建者ノ如キ王陳炯明ノ率元南軍ニ
ヨリテ今ヤ南方ニ取リ居ルニアラスヤ其他湖
南ニ於ケル内華ノ如キモ南方ニ有利ナリ故
ニ兩者ノ抗爭ハ今後何時迄継続スルニシテ
モ南方ニ於テ屈服スルカ如キコトナシ而シテ
吾人ハ原内閣ノ對支方針カ中ニテ保持セ
ラルト共ニ元來民國ノ約法ニ基ケル旧國會
ヲ回復スルコトノ正當ナルヲ認メラレ之レカ回復
ヲ條件トシテ南北妥協ニ盡瘁セラレムコト
ヲ切望スルモノナリ

尚ホ近々南方軍政府ノ要務ヲ帶ヒ來邦

スルニ章士釗ハ岑春煊ノ秘書長ニシテ
從來岑ニ於テ採リ来リタル方策ハ單ニ
岑自身ノ意思ニノミ依レルニアラス事毎ニ章
ノ意見ヲ參酌セル狀況ニシテ今回章ノ渡來
ハ岑自身ノ渡來ト實質ニ於テ何等異ル
歟ナク即チ政務總裁ノ首席タル岑ノ意思
ヲ日本政府ニ致サハトスルモノナリ尚ホ岑及
章ハ田中陸軍大臣トハ親交アル間柄ナルマ
ニ不聞シ居ルカ故ニ同人渡來ノ曉ハ南方
政村ノ承認乃至南北妥協等ノ重大ニ
事務ニ關シ見少キモノアルヲ確信シ居レリ
一北方派ニ屬スル有力者、馬聘三、王文達ハ
白ク

MT 11212 02362

MT 11212 02361

寺内閣辭職シ原内閣ノ成立ヲ見タルニ
就テハ一般ニ氣度好キ状況ニシテ殊ニ支那
南方派ノモノ、如キハ對支方針カ南方有
利ニ変更セラルベキヲ確信シ期待セル模様
ナルカ一國ノ政治カ内閣ノ交迭ニヨリテ時々
改スベシトハ思ハレヌ何レノ内閣ニアリテモ其
ノ根本方針ハ同一ナリ殊ニ文明國中ニ
於テ威望殆ント比類ナキ日本ノ政策カ時
ノ首相ニヨリテ根本的ニ改善サルベシトハ想
像スルヲ得ヌ

寺内閣カ援段南庄ノ方針ヲ採リ居リ
タルカ如ク揣摩シ唱道スルモノアルニ段ハ支
那ニ於ケル正当ナル内閣ナルカ故ニ國家ノ見

4

地ヨリシテ段内閣ト諸般ノ外交事務ニ
當ルハ正当ニシテ敢テ批難ノ理由トナラズ吾
人ハ内閣ノ交迭ハ何等内治外交ノ根本ニ
影響ヲ及ホサスト信シ居レルモノナルカ暫ク
今後ノ至過ニ俟タントス云々

右及申報候也

MT

11212

02364

MT

11212

02363